

平成30年度社会福祉法人三環舎事業報告書

1 利用定員

	あしたば園	夢来夢来
就労移行支援	6	6
就労継続支援 B 型	12	20
自立訓練	6	
生活介護	16	
就労定着支援		6
計	40	32

- 2 職員数
- | | | |
|-------------------|------|-------------|
| あしたば園 | 20 名 | (常勤換算 16 人) |
| 夢来夢来 | 18 名 | (常勤換算 14 人) |
| あまみ障害者就業・生活支援センター | 4 名 | |
| チャレンジドサポート奄美 | 6 名 | 計 48 名 |

31.3.31 現在

3 主な実績等

① 登録者数

	あしたば園						夢来夢来				合計
	就労移行	自立訓練	B 型	生活介護	日中一時	小計	就労移行	B 型	日中一時	就労定着	
19.4.1	15	9				24					24
20.3.31	19	9				28					28
21.3.31	23	11				34					34
22.3.31	23	14			1	38					38
23.3.31	13		13	14	2	42					42
24.3.31	10		16	17	2	45					45
25.3.31	15		22	18	2	57					57
26.3.31	16	5	19	21	1	62					62
27.3.31	18	6	22	21	1	68					68
28.3.31	5	7	16	21	2	51	11	15	2	28	79
29.3.31	6	6	13	22	0	47	13	20	1	33	80
30.3.31	9	6	11	21	0	47	11	18	0	29	76
31.3.31	5	4	13	21	0	43	6	21	6	36	79

② 工賃(4~3月) 総額 13,827,820円

	あしたば園				夢来夢来	
	就労移行	B 型	自立訓練	生活介護	就労移行	B 型
総額	1,113,903	3,488,895	570,940	1,156,173	1,223,632	6,275,277
平均利用者数	6	13	4	22	7	21
平均月額	15,471	24,013	11,895	4,379	14,567	26,893

4 活動の内容と成果

- ① 30年度は、就労支援に積極的に取り組み、8名（あしたば園2名、夢来夢来6名）が就職して巣立っていった。また新しい制度として、就労定着支援が開始され、一昨年度就職した方6名の定着支援に取り組んだ。これは県内初の取り組みであった。
- ② 工賃向上のための取り組みとして、新たに聖母幼稚園の給食（週2回）を開始した。また、町田酒造と共同開発の新商品「あまみ気分」を開発中である。イベントなどを通じ、夢来夢来の売上が増加し、観光客の増加により、島じゅうりの売上也堅調であった。また、市役所新庁舎カフェに応募したが、他事業者に決定した。
- ③ NPO法人チャレンジドサポート奄美を解散したことから、「晴ればれ」を廃止して、相談支援事業所「チャレンジドサポート奄美」を開設。相談支援専門員が質・量ともに充実し、相談支援にあたっている。県の地域療育等支援事業も受け継ぎ、施設支援、ペアレント・プログラムなど積極的に取り組んだ。

主な行事は以下のとおり。

- 5/26 交流運動会・家族会
- 6/2 アピリンピックプレ大会
- 6/9 夢来夢来感謝祭
- 7/7 あしたば園夏祭り
- 10/27 ゆうあいスポーツ奄美市大会
- 11/10 利用者交流会（食事、カラオケ）家族会
- 11/29 ヨット体験（瀬戸内町阿伝、セーラビリティ）
- 12/1～2 夢来夢来フェア
- 1/26 新年会

その他

- ・ 奄美看護福祉専門学校実習、大島養護学校実習、中学生福祉体験、大島養護学校 PTA 研修などの受け入れ
- ・ 奄美市敬老会、大川子ども会夏祭り、めぐみの園夏祭りなどへの賛助出演
- ・ 奄美市まなび福祉フェスタへの参加など

【あしたば園】

《製造班》

製造班は、「ラスク及び菓子製造」、「島じゅうり」の二班で活動している。

ラスク及び菓子製造班は、従来商品に加え、今年度も、クッキーシューとチーズケーキ、シフォンケーキが好評で安定的に売り上げている。また、町田酒造とのコラボにより、黒糖焼酎で作った「すもも酒」「たんかん酒」のゼリーに加え、黒糖焼酎スイーツ「あまみ気分」を開発中である。

島じゅうり（加工場）では、観光客が増加し、空港売店やビックⅡ、タイヨー、ばしゃ山などのお土産物販売を中心に販売が多くなり、またふるさと納税サイトからの申し込みも多かった。特に「鶏飯」は安定的に受注が増加し、各販売先での人気も継続している。また「ヤギ汁」や「いかすみ汁」など島の素材にこだわった商品も定着し、顧客層を広げている。

《委託作業》

園の敷地内で、アルミ缶分別及び環境整備の業務を継続して実施している。草刈り機の操作

を習得し、草刈りが行えるようになった。

また、(株) ヘルシーアイランズからあざみの育苗を委託され取り組んでいる。

名刺印刷にも取り組み、官公庁よりの受注を行っている。

《生活介護》

日々の活動計画に基づいて、障害の程度に合わせた軽作業を行いながら、週1回、レクリエーション販売として、奄美看護福祉専門学校での近場販売（月2回）と笠利方面、大和村方面、龍郷方面での遠出販売（月2回）を交代で実施している。

また、月に1回、交代で「夢来夢来」のカフェへ出向き、それぞれに好きなパンと飲み物を購入し、お茶の時間を過ごしている。

「あしたば太鼓」では週1回の練習を実施。新メンバーも増え、演奏技術の向上に取り組んでいる。

スヌーズレンの活動も継続。スヌーズレンルームでのリラクゼーションや、手元に置けるような器具（万華鏡など）を利用し、一時的ないらだち、不安感の解消など利用者のリラクゼーションにも取り組んでいる。

今年度は、生活介護の取り組みの質的見直しを行い、ヨット体験やお花見、一日遠足、おやつ作り、ハロウィンイベントや餅つきなど楽しいイベントも行っている。

《就労支援》

就労勉強会を「夢来夢来」と合同で週1回行い、自立生活や就労に向けた学習に取り組んでいる。特に対面でのあいさつ練習、職場の教養の読み合わせ、声を出す訓練など実践的なデモンストレーションを行った。また、あまみ障害者就業・生活支援センターと連携を図りながら利用者の職場実習や就職活動に取り組んだ。2名就職することができた。

【夢来夢来】

《製造班》

パン製造班は、徐々に力をつけ、多数の新商品製造に尽力しており、多数のお客様が来店する人気店となっている。店舗や移動販売の他むかいクリニックやなぎさ園などの注文も受けている。

《販売班》

店舗では元気よく対応し、お客様に親切なお店として好評で、1日平均150名のお客様に対応している。また移動販売班は、市役所、老人施設他たくさんの場所で移動販売を行っている。お客様の障がい者に対する理解をいただきながら、接客の力をつけている

《喫茶・ランチ班》

コーヒー、島じゅうりランチ、鶏飯丼、島じゅうり弁当（500円、250円）など好評でほぼ毎日売り切れである。また、新商品の奄美カレー、軟骨丼もご好評いただき、更に賑わいを増している。原価率が高いため、原材料の見直しが必要である。

《清掃班》

サービス付き高齢者住宅「ゆとりあん」の清掃作業、退所時清掃、ワックスがけを通して、作業スキルを身に付け一般就労への力をつけている。

- ・幸栄パチンコ店ワックスがけ（月1回）、ワックス剥離作業（年1回）
- ・むかいクリニックワックスがけ
- ・夢来夢来、あしたば園ワックスがけ

- ・町田酒造委託作業(草刈り、環境整備、すもも洗い等)

《奄美市食の自立支援事業》

奄美市が行う訪問給食サービスの委託を受け在宅の高齢者に対して、温かい食事を配食することにより、栄養の改善や安否の確認等を行っている。

《厨房班》

むかいクリニックの厨房で食器洗浄、仕込み、盛り付けなどを行っている。

《就労支援》

就職への意欲は高く、就職者6名 実習延べ10名

【あまみ障害者就業・生活支援センター】

平成30年度の活動実績について

《支援実施状況》(平成31年3月31日現在)

□登録状況(性別)

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計(人)
男性	40	64	90	5	199
女性	24	25	41	7	97
合計	64	89	131	12	296

□登録状況(現状別)

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計(人)
在職中	29	44	36	4	113
求職中	34	44	94	8	180
その他	1	1	1	0	3
合計	64	89	131	12	296

□実習・就職件数

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計(件)
職場実習	3	6	15	6	30
就職	6	9	12	3	30

登録者の約半数が精神障害の方で、その他欄は発達障害、難病など他の障害者手帳を所持されていない方である。主な実習先や就職先としては、福祉施設や病院等での調理補助や清掃が多い。平成30年度からの特徴として行政機関での就労も少しずつ増えてきている。

また、登録者の見直しを行い、昨年当初に比べ30名程度の減となっている。

《障害者就業開拓推進員の配置》

平成26年度から県雇用労政課の非常勤職員として求人開拓や雇用関係情報の収集などの業務に従事する障害者就業開拓推進者が1名駐在している。

《離島訪問等》

各離島を訪問し、関係機関との情報共有や登録相談会、巡回相談、事業所開拓を行うことで、実習や就職支援、定着支援、生活支援に繋げている。また、実習調整のための日帰りでの支援も行った。

(喜界島) 5回 (徳之島) 4回 (沖永良部島) 3回 (与論島) 3回

《在職者の交流会》

在職者の交流会を4回実施。

就労面や対人関係等の悩みなどを共有している。課題の解決や就労意欲のモチベーションの維持を図ることで定着につながっている。

- ① 6/16 「夏に負けない体力を作る」(調理) 参加者10名
- ② 9/8 「コミュニケーションについて」の講和、グランドゴルフ 参加者10名
- ③ 11/19 「暮らしの困りごとへの対応について」の講話、水族館見学 参加者6名
- ④ 3/17 「ストレス対処法について」、カラオケ 参加者11名

《関係機関との連携》

地域で開催される各会議等に参加し、センターの周知を図り、就労支援の為のネットワーク作りを強化することで、連携体制を築いている。

- 奄美地区地域自立支援協議会
(全体会、運営委員会、定例会、就労支援部会、精神部会)
- 大島地区就労ネットワーク会議(1回)
- 鹿児島県障害者就業・生活支援センター連絡会(2回)
- 鹿児島県障害者就業・生活支援センター業務担当者会議(5回)
- 大島養護学校(登録相談会、出張講座等)
- 難病対策地域協議会(名瀬保健所)

《会議開催》

- 平成30年度 障害者就業・生活支援センター連絡調整会議

日時：10月29日(月) 13:30～14:30

場所：奄美病院デイケアセンター 研修室

参加：33機関43名

鹿児島県雇用労政課・市町村役場、ハローワーク、教育機関、県発達障害者支援センター、鹿児島障害者職業センター、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所 等

※第1回大島地区就労ネットワーク会議と共催。

【指定特定相談支援事業所 チャレンジドサポート奄美】

平成30年4月に相談支援事業所晴ればれとNPO法人チャレンジドサポート奄美を統一し、社会福祉法人三環舎チャレンジドサポート奄美へ名称変更を行う。

相談支援専門員5名・事務1名の体制で特定事業所加算をとり相談業務を行った。

1 計画相談実績

月	利用計画作成(請求分)	モニタリング(請求分)
4月	19	36
5月	23	30
6月	30	60
7月	12	71
8月	28	53

9月	26	84
10月	34	78
11月	33	46
12月	12	116
1月	30	55
2月	10	56
3月	12	88
計	269 件	773 件

2 障害児等療育支援事業実績

① 在宅支援訪問療育支援事業（253件）

- ・小児神経専門外来、発達療育相談
（県立大島病院4回、奄美市4回、徳之島1回）
- ・心理士相談（鹿児島大学心身医療科 川元臨床心理士 24回）
- ・もぐもぐ相談（鹿児島大学小児歯科 佐藤医師）4回
- ・やちやぼう相談（大山発達障害地域支援専門員）

② 施設支援一般指導事業（167件）

保育所、幼稚園、学校、大島養護学校などからの申し込みを受け、専門スタッフを派遣して、療育に関する技術向上に向けての助言や支援を行う。

- ・発達障害地域支援専門員 大山氏
- ・びわこ学園大学客員教授（特別支援教育）當島氏
- ・県立大島病院理学療法士 當房氏
- ・発達サポートリハ龍郷作業療法士 楠元氏
- ・鹿児島大学小児歯科 佐藤医師
- ・菊野病院言語聴覚士 松永氏
- ・中京大学現代社会学部教授 辻井氏

③ 外来相談支援、一般相談（51件）

障害児、障害者に対して随時個別相談に応じる。

④ 障害児親の会

- ・就学児親の会（奄美市2回、瀬戸内1回）
- ・ダウン症親の会 1回

⑤ ペアレントプログラムの実践

- ・奄美市6回×2ヶ所
- ・宇検村6回
- ・ペアプロ指導者資格認定者の集まりを行い、役割分担を行い各自が保育所・幼稚園・療育施設での実践できる体制作りを行う。

⑥ 鹿児島県子ども療育センターのコーディネーター会議への参加（6回）

及び巡回相談マネジメント

2 会議への参加

- 奄美地区地域自立支援協議会相談支援部会（毎月）
 - 精神部会（随時）
 - 子ども部会